

学校名	福島県立たむら支援学校	校長	齊藤 恵子
住所	春山校舎（小・中学部）：田村市船引町春山字道ノ原5 1 石崎校舎（高等部）：田村市船引町船引字石崎15-3		
TEL	春山校舎：0247-82-4114 石崎校舎：0247-82-4627		
ホームページアドレス	http://www.tamura-sh.fks.ed.jp		

地域で共に学び共に生きる

本校は、今年度4月に開校した、二つの校舎を持つ新しい形の特別支援学校です。春山校舎は、旧春山小学校の空き校舎を活用して、石崎校舎は、船引高等学校の空き教室を活用して開校しました。現在38名の児童生徒一人ひとりが“夢の実現”に向けて様々な活動に取り組んでいます。

石崎校舎（高等部）では、同じ校舎で生活する船引高等学校や地域の小野高等学校との交流及び共同学習を進めており、お互いに「自己肯定感」や「自己有用感」を高める機会となっています。

【GCF（グレートクールファイブ）カフェ、開店】

10月の学校祭で、接遇の練習を兼ねたカフェの開店に取り組みました。作業学習で焼いたクッキーとコーヒー・紅茶。その学習の成果と反省を生徒達が自ら話し合い、改善し、新しい取り組み方を考えて、今度は石崎校舎で自分達のお店を開店させようと決定。その名もGCFカフェ。すばらしくかつこいい5人（の私たち）という意味です。12月8日（金）は、保護者の方々や、船引高等学校の職員の方々が大勢来てくださり大盛況。「丁寧な接待に感激した」「とても癒やされた」「またやってほしい」等の感想が多数寄せられました。



【ペットボトルツリー交流】

船引高等学校家庭クラブから、本校生と是非一緒に活動したいといううれしい要望があり、12月11日（月）、ペットボトルツリー交流が実現しました。松ぼっくりをツリーに見立て金や銀のスプレーをかけ、横にミニチュアのサンタクロースやトナカイを置きました。ツリーにビーズや雪（綿）をあしらひ、ラベンダーを飾りつけ、最後に半分に切ったペットボトルをかぶせてリボンをつけたらとてもかわいいツリーの完成です。船高生と本校生がコラボしながら和気あいあいとした雰囲気の中で作り上げました。船高生からは「みんなとても丁寧に作業をしますのですごい」「一緒に活動できてとても楽しかった」との感想をもらいました。このツリーは家庭クラブが作った雑巾とともに、地域の老人福祉施設にプレゼントします。

【花作り交流】

12月14日（木）、小野高等学校の農業科の生徒が本校に来校し、パンジーとサイネリアの定植を行いました。本校生徒と小野高生がペアになり、21個のプランターに、小野高さんが持ってきてくださった栄養たっぷりの土を入れ、一緒に花の苗を植えました。9月には、本校生が小野高校に行き、一緒に枝豆の収穫作業を行ったこともあり、小野高生から「この前一緒にやったから覚えています」との言葉どおり、積極的にかかわっていただきました。手もかじかむ寒さの中「花が寒いから土の布団をかけてあげようね」との声をかけてもらい、一緒に触れ合った時間はとてもあたたかいものでした。小野高生からは、「みんな素直で、わからない時は僕たちを信じて聞いてくれた」「2回目でより仲良くなれた」「販売実習では町内の方々としかかわれないので、こういう交流ができてうれしい」との感想をいただきました。この花は、本校の小・中学部の卒業式に飾る予定です。



